

箱館戦争 150 年・榎本武揚没 110 年

演題：榎本武揚論

帝国主義のトップランナー

昭和の戦後に羽生五郎らによって「蝦夷共和国」論が登場した背景からはじまり、明治 ⇒ 幕末期というように榎本武揚をめぐる、時代をさかのぼる形で「箱館戦争とは何だったのか」と新たな「榎本武揚の実像」に迫ります。

2018年12月15日(土)

開演：14時(開場13時30分)



榎本武揚 - 函館市中央図書館蔵

講師：武藤 三代平 氏

北海道大学大学院文学研究科専門研究員

早稲田大学第一文学部卒業

早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了

北海道大学大学院文学研究科博士課程修了-文学博士-

論文：明治期における榎本武揚の権力構造

明治政府における榎本武揚の位置づけ

-明治十年代の井上馨との関係から-

小樽をめぐる榎本武揚とその人脈網 他

「榎本武揚の実像」：北海道新聞夕刊 2018.3.7

はこだて外国人居留地研究会

12月公開例会

特別講演会

会場：ふらっと Daimon

若松町 17-12

棒二森屋アネックス 6F

募集数：100名

事前申し込みは不要

当日直接会場にお越しください。

但し、定員に達し次第締め切ります。

参加料：200円

後援

函館市

函館市教育委員会

主催・問合せ

はこだて外国人居留地研究会

☎ 23-5218 講演会担当